

# イードリーマー(株)

## 自動車オークションで新サービス

インターネットオークションを運営するイードリーマー(株)(東京都渋谷区、山下亮社長)は10月から、資源リサイクルに関する損保会社向けサービスを開始した。損保会社が代位取得した全損車両などを回収して部品をリサイクルした場合のCO2削減量データを無料で提供するというもの。自動車ネットオークションでは国内初のサービスで、元になるCO2データは早稲田大学環境総合研究センターが開発したデータバンクを活用する。自動車保険の損害率が高止まりし、環境保護の観点からリサイクル部品の利用促進が求められる中、CSRや社会貢献活動の一環として同サービスに注目が集まりそうだ。

新サービスでは、同社を基に欠損部品を除くす損保会社から全損車両の連絡を受けると、指定する全国約230カ所の車両回収代理店が当該車両を引き取り、欠損部品の確認、査定、画像撮影などを行う。査定データ

### 全損車両のCO2削減データ 無料提供

見積もった削減量で、各部位がリサイクル部品として実際に流通した場合の削減量はさらに増加することになる。また、損保会社にリアルタイムで報告する。提供する数値は、素材リサイクルの削減リポートも提供する。車両はデータ取

得後、オークションで売却される。

既に損保ジャパンと提携して、7月から試験導入した。サービス開始前の使用済み車両のデータも数値化し、1年間で約4500台のデータを提供予定。今後はサービスの提供を拡大を図る。

同社は2009年10月から、損保会社から全損認定した車両の処理を一括管理するエコネットオークションシステムを開始。全損代位取得時以降の車両回収、保険契約者向けの車検抹消処理はすべてコールセンターで行

い、保険会社は専用システムで処理の進捗よく状況を確認できる。契約者の書類手続きが完了後、オークションで車両を売却し、代金の代理回収も引き受ける。

国内の自動車リサイクル市場は部品不足が大きな課題となっており、売却先を国内の正当な自動車関連業者に限定することで、国内市場での流通活性化を促すとともに、売却車両が外国に輸出され、犯罪などに使用されることを防ぐ。

同社の山下社長は「リサイクルのIT化を大きなテーマとしている当社は、今回のサービスを提案することで自動車中古部品の市場拡大に貢献するとともに、損保業界にCO2の削減意識をもっと高めていただき、共に自動車の環境配慮行動を促していただければと考えている」として、今後のサービス規模拡大に意欲を示している。